



絵本のある場所がすべてSDGsの入り口になりますように

絵本でSDGs推進協会×アトリエペタタ



絵本とアートでSDGs

2021年6月号

「あっ！これってSDGsだ！」 「ねえ、これって防災につながるね！」 そう！身の回りにはSDGsや防災・減災につながるものがたくさんあります。むずかしく考えずに、絵本とアートで日々の生活に取り入れてみませんか？

14 海の豊かさを
守ろう



3 すべての人に
健康と福祉を



暮らし×SDGs

6月5日は「環境の日」でした。これは、1972年にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものだそうです。そこから今月は環境月間とされています。環境庁の呼びかけで全国各地で様々な環境に関する行事などが行われる一ヶ月です。また今月は歯と口の健康週間（4日～10日）もありました。いくつになっても自分の歯で食事ができるように、歯や口の中から健康を見直すことをしてみたいかがでしょうか？80歳になっても20本以上の自分の歯を保つための「8020（ハチマルニイマル）運動」という活動もあります。



朝日 仁美

絵本でSDGs推進協会代表理事
学校司書 絵本専門家

SDGsforSchool認定エデュケーター

6月のおすすめ絵本



ハブラシのサミー
海のなかのプラスチック
作：M・Gレナード
出版社：化学同人

主人公は黄色いハブラシ。持ち主の女の子は朝晩このハブラシで歯を磨きます。そしてサミーと名前を付けて柄の部分にはSのマークを印して大切に使っていました。しかし、ブラシがボサボサになりお母さんに捨てられてしまいます。そこからサミーの大冒険は始まります。車や船で見知らぬ国へ来たサミー。持ち主の元へ帰りたい一心で川へ飛び込み、やがて海へと！プラスチックゴミ輸出やマイクロプラスチックによる海洋汚染を考える最初の一冊にオススメです。

11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



防災×アート

今年は、日本各地で例年より早い梅雨入りとなっています。さて、雨の季節に欠かせない『傘』ですが、ビニール傘の大量の廃棄が、大変な環境問題になっています。むやみに使わず、使い捨てせず、アクリル絵の具で、内側から自由に絵を描いて、オリジナルの大切な作品に変身させてみて下さい。

12 つくる責任
つかう責任



石橋 幸子

NPO法人アトリエPetata理事長
保育士 防災士 絵本専門家

6月のおすすめ絵本



土砂災害のきほん
作：佐藤文晴
出版社：吉備人出版

今年度、アトリエペタタは阪急阪神ホールディングスの第12回「阪急阪神未来のゆめ・まち基金」の助成団体に採択されました。今後も、より一層、絵本とアート制作を通し、子ども達にわかりやすく防災やSDGsを自分ごとにできる様な活動を展開していきたいと考えています。さて、今月の絵本はこれから夏にかけて読んでおきたい『土砂災害のきほん』です。すぐろくなどのページもあり楽しみながら学べる絵本で、他に『土石流のチカラ』『土砂災害とひなん』がシリーズで出版されています。